

5号機原子炉冷却材再循環系MGセット（B）の 潤滑油フィルタ切り替え操作に伴う出力降下について

平成 23 年 4 月 12 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

定格熱出力一定運転中の5号機において、原子炉冷却材再循環系MGセット*（B）の潤滑油フィルタの差圧に若干の上昇が確認され、切り替えの管理値に近づいてきたことから、平成23年4月12日午後10時より原子炉熱出力を約5%降下させ、潤滑油フィルタを予備側に切り替えることとしました。潤滑油フィルタを予備側に切り替えた後は、原子炉熱出力を定格まで上昇させる操作を行います。

原子炉冷却材再循環系MGセット（B）の潤滑油フィルタの差圧については、通常50kPa程度であり、切り替えにあたっての管理値を100kPaとしていますが、平成22年12月28日より徐々に差圧の上昇傾向が見られ、4月11日現在89kPaとなりました。切り替えの管理値には達しておりませんが、切り替え操作の準備にあたって十分な時間を考慮し、本日、切り替えを行うことにいたしました。切り替え作業は3時間程度の予定です。

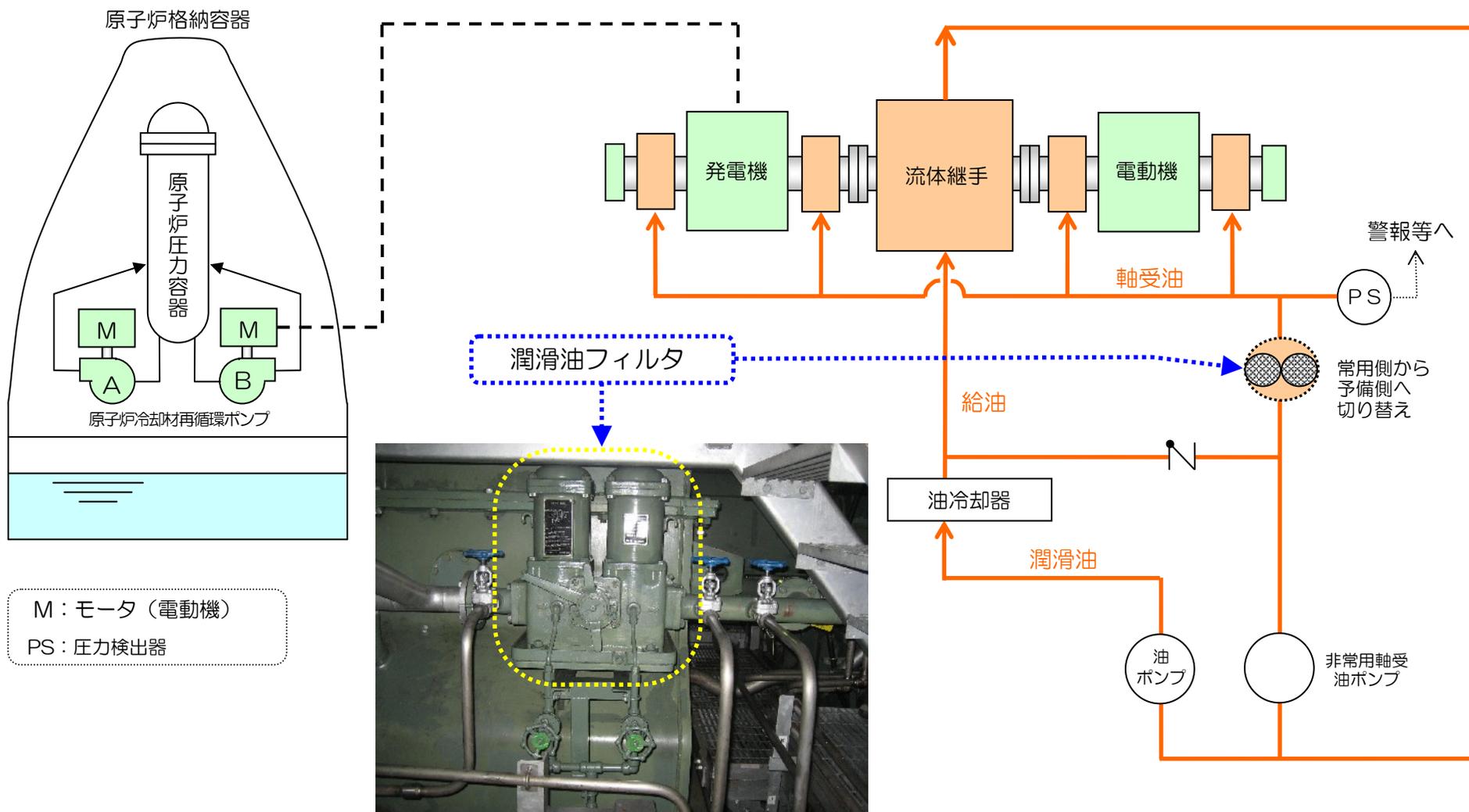
差圧が上昇した原因については、今後の定期検査時に調査する予定です。

* 原子炉冷却材再循環系MGセット

原子炉冷却材再循環ポンプの電源の周波数を変える装置。同ポンプは電源の周波数を変えることにより、ポンプ速度を変化させ流量制御を行っている。5号機には2台設置されている。

以 上

添付資料：柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉冷却材再循環系MGセット（B）
潤滑油系の概略図



柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉冷却材再循環系MGセット (B) 潤滑油系の概略図